



令和5年（2023年）度のNP
O 法人日本喉摘者団体連合会東日本
ブロック発声訓練士研修会が、10
月4日（水）から6日（金）の3日
間、埼玉県さいたま市の「マロウド
イン大宮」
で開催さ
れました。
参加者は
11 団体
47 名で
した。

コロナ
感染拡大
により4
年ぶりの
開催にな
りました。
同研修会には、初日にオーストラ
リアクイーンズランド大学 言語病
理学教授 エリザベート・ウォード
先生が、二日目に埼玉県立がんセン
ター頭頸部外科長兼診療部長 医
学博士 白倉 聰先生が特別講演を行
いました。
訓練士は、「食道発声の原理と指
導の実際について」のDVDを視
聴した上での参加者個人が実践して
いる訓練を対比し今後の訓練につい
てグループ討議、まとめを行い7グ
ループから発表しました。ブロック



長から参加者へ修了証授与及び次回
開催地を神奈川県と決めました（詳
細は銀鈴71号に掲載）。
令和5年9月21日（木）、10月
3日（火）2回にわたり発声教室
終了後、それぞれ株式会社アトスメ
デイカルジャパンの言語聴覚士・佐
藤純史様、株式会社名優の看護師・
白井恵津子様を交えて会員の皆さん
との懇談会を開催しました。
懇談会では株式会社アトスメデイ
カルジャパンから人工鼻等の説明が
あり、会員さんからは気管孔のケア
等の質問が、また株式会社名優から
はシャワーエスコート等の説明があ
り、フォームフィルターについての
質問等、皆さん活発な質疑応答が行
われ、有意義な懇
談会にな
りました。
今後
定期的
にこの
様な
懇談会
の開催
を計画
してお

令和5年10月26日（木）に東京
都障害者福祉会館に於いて、午前
10時から第26回 喉頭摘出者団体
アジア連盟（AFLA）代表者
会議が開催されました。
これまでの国際会議は3年に一度
行われてきましたが、コロナの影響
で開催が延期され、今回は6年ぶり
に公益財団法人社会貢献支援財団様
よりご支援いただき、東京での開催

令和5年度
日喉連・東日本ブロック
発声訓練士養成事業研修会

ぎんれいだより
R5年秋号

編集：公益社団法人銀鈴会
東京都港区新橋 5-7-13
ビュロー新橋 901
電話：03-3436-1820
1971年6月17日第3種郵便物認
可（毎月6回5の日・0の日行）
SSK 銀鈴臨時増刊 ぎんれいだよ
り NO.18 2023年11月26日発行
通巻第5985号 定価50円
発行：障害者団体定期刊行物協
会 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17-
102

教室懇談会が開かれる

銀鈴会70年史、刊行予定

長から参加者へ修了証授与及び次回
開催地を神奈川県と決めました（詳
細は銀鈴71号に掲載）。
令和5年9月21日（木）、10月
3日（火）2回にわたり発声教室
終了後、それぞれ株式会社アトスメ
デイカルジャパンの言語聴覚士・佐
藤純史様、株式会社名優の看護師・
白井恵津子様を交えて会員の皆さん
との懇談会を開催しました。
懇談会では株式会社アトスメデイ
カルジャパンから人工鼻等の説明が
あり、会員さんからは気管孔のケア
等の質問が、また株式会社名優から
はシャワーエスコート等の説明があ
り、フォームフィルターについての
質問等、皆さん活発な質疑応答が行
われ、有意義な懇
談会にな
りました。
今後
定期的
にこの
様な
懇談会
の開催
を計画
してお

り、11月は30日（木）に佐藤純史
様からこれまで受けた相談とその解
決法について懇談を行いました。

銀鈴会は明年、創立70周年を迎え
ます。これを記念して令和6年10
月刊行予定で「銀鈴会70年史」の
編纂を始めました。銀鈴会はこれま
でも10年単位で記念誌を刊行し
ており同70年史もこの一環として、
この10年の歴史をまとめます。こ
の10年の3分の1はコロナの影響
を受けるなど特筆事項が多い10年
史になると思われま

AFLA代表者会議が
東京で開催される



が実現しました。
 今回は加盟14か国・地域のうち、9か国・地域24名が出席しての会議となりました。松山会長が議長となつて各議事を討議、すべてに承認いただきました。また各国の喉摘者団体の現状と方向性が報告され各国で共有することができました。この間、銀鈴会の各クラスの訓練状況を見学していただき、多くの質問と興味深い意見をいただきました。
 会議終了後、銀鈴会の訓練士、公益財団法人社会貢献支援財団の安倍昭恵会長を交えての懇親会では各国の代表者との交流が行われ、有意義な時間を過ごすことができました。
 なお、今回は3年後に台湾で開催する予定です（詳細は銀鈴71号に掲載）。

（載）。
 AFLA = Asian Federation of Laryngotomies Association
 昭和59年（1984年）にアジア地域の喉頭がん患者の救済を目指し、銀鈴会の内部組織として「喉頭摘出者団体アジア連盟」（AFLA）を創設しました。
 約30万人と言われるアジア各国の喉摘者のために、14か国・地域（韓国、中国、台湾、香港、タイ、インド、インドネシア、ネパール、パキスタン、マレーシア、シンガポール、フィリピン、バングラデシュ、日本）の喉摘者団体ボランティア組織で構成され、銀鈴会は「喉頭摘出者団体アジア連盟」の中核団体として、各国に喉頭摘出者団体組織運営のあり方、発声指導員の育成などを主導してきました。今回よりベトナムが加盟しました。

社会貢献支援財団様より

「奨励賞」を受賞

銀鈴会は11月27日（月）午前、帝国ホテルで行われた第60回社会貢献支援財団表彰式において会長の安倍昭恵様より「奨励賞」を受賞し、渡邊会長が賞状と支援金をいただき、謝辞を行ってきました。この奨励賞

の支援金は先のAFLA代表者会議開催の資金として利用させていただきました。

**JICA草の根
 技術協力事業でベトナムに派遣**

本年3回目のベトナム派遣は11月5日（日）から11日（土）まで、太田副会長、篠常務、山後理事の3人です。参加喉摘者は前回と同様6名ですが新規が2名となりました。
 この事業は、「ベトナムの喉摘失声者に対する食道発声教室の開設と発声訓練体制の確立」が目標です。
 22年5月から2年間の事業で残すところ6か月となりました。当初



は喉頭摘出者参加者を50名と計画していましたが、ベトナムの障害者支援が未整備なこともあり、参加への経済的負担が大きく、参加人数は10人程度に止まっています。これからの半年間目標達成に向けオンライン、対面指導を通じて事業を遂行する予定です（詳細は銀鈴71号に掲載）。

令和5年度家族座談会のお知らせ

令和5年度家族座談会は令和6年2月17日（土）午後から、東京都障害者福祉会館で行われます。銀鈴会顧問で医師の吉原俊雄先生が出席し、皆さんの医学的疑問にお答えする座談会です。その日の午前中には日頃の訓練の成果を発表するスピーチ発表会があります。詳細は各訓練士や事務局にお問い合わせください。

**令和5年度 表彰者
 都知事感謝状表彰、会長表彰**

令和5年12月22日（金）午後2時30分から第72回東京都社会福祉大会が都庁で行われました。銀鈴会から「東京都知事感謝状」を渡邊操会長が、「東京都社会福祉協議会会



領家理事



渡邊会長



篠田指導員



長表彰」を領家宣雄理事、篠田乃武子訓練士がそれぞれ受賞しました。受賞した3人はそれぞれ自身が喉頭摘出して声を失いながらリハビリで第2の声を獲得し、訓練士となって同じ喉頭摘出者に発声訓練を指導し、多くの喉頭摘出者を社会復帰させたことにより受賞しました（詳細は銀鈴71号に掲載）。

会員へのアンケート調査報告

新型コロナウイルス禍の影響を受け、世の中の変化とともに、銀鈴会の在り方も会員の減少、高齢化、教室参加者の減少と今までに無い状況下に晒されています。

今後の銀鈴会の在り方をどのように進めて行くかを、訓練士はもと

より、会員の皆さまのご意見をお聞きしながら進めて行くためにアンケートを実施し、その結果を報告します。

調査対象は教室に参加しているすべての会員です。回答数はイ・当日出席会員41名 回答数41名 回答率100% ロ・郵送会員102名 回答数46名 回答率45%でした。詳細は銀鈴71号に掲載します。主な意見内容のみ掲載しました。

★訓練士の名前が分からない。★アドバイスなど声をかけて欲しい。★いろいろなと分からないことを質問したい。★日常生活での事故の対処法などを知りたい。などでした。

会員の皆さんからのアンケートには、今後できることから教室開催の改善に努めていきます

古本、CD、DVD 募金活動報告 募金額 15万円

この募金活動は2023年10月で5年目を迎えました。ご家庭で不要になった書籍やDVD・CD・ゲーム・コミックなどをご寄付いただき、換金した資金を銀鈴会の活動に使わせていただいております。募金額は9月末現在、149,760円、延べ24

3名の皆様にご協力いただきました。改めてお礼申し上げます。教室開催日に受付まで持ってきていただければ幸いです。今後ともこの活動にご理解いただきご支援よろしくお願いいたします。



事務所職員紹介

事務局長

氏名 杉山 喬
入会 令和4年5月

事務局長補佐

氏名 尾上 公敏
入会 令和4年8月
氏名 江川由季子
入会 令和5年2月
氏名 富樫 泰章
入会 令和5年9月
氏名 萩原あけみ
入会 令和5年9月

訂正とお詫び

「銀鈴」70号79頁「石崎康夫」は「石塚康夫」様の誤りでした。お詫び申し上げます。

♡賛助会ご加入とご寄付のお願い♡

身近な方々の
ご理解とご協力をお願いいたします。



年会費

- ・法人賛助会員 1口5,000円 6口以上
- ・個人賛助会員 1口5,000円 1口以上



第10回区
第43巻
1丁巻
2月17日(土)

公益社団法人 銀鈴会
事務局 杉山 喬
〒105-0004
東京都港区新橋 5-7-13
ビュロー新橋 901
TEL : 03-3436-1820
FAX : 03-3436-3497
振替口座 : 東京 00160-1-35906
E-mail : office@ginreikai.net
UR : https://www.ginreikai.net/



ご支援ありがとうございました

ご寄付及び賛助会費を頂戴いたしました皆様 令和5年10月末日現在（五十音順 敬称略）

アスロード物流株式会社、アスロードウイング株式会社、株式会社アトスメディカルジャパン、株式会社オカムラ、公益財団法人社会貢献支援財団、三協立山株式会社、泉工医科貿易株式会社、全日本相撲甚句協会、綜研化学株式会社、第一医科株式会社、株式会社第一興商、大新土木株式会社、株式会社大和証券グループ本社、株式会社電制コムテック、東京ガレーヂ株式会社、原田産業株式会社、株式会社明電舎、株式会社名優、山崎製パン株式会社、ロジホールジャパン株式会社、YKK AP株式会社

相澤善也、青山弘、縣信元、秋元一郎、秋元洋一、浅香高秀、浅見精二、足立照美 荒川敬子、荒松允之、安西竹蔵、飯島敏禎、五十嵐雅勝、井口英子、石塚康夫、石坂和也、石田研吾、市田治弥、井手麻喜子、伊藤譲治、伊藤智生、伊藤仁、井上裕子、井上貴之、入谷文雄、岩崎堅司、岩崎伸、岩崎孝義、岩田泰夫、岩見好雄、植原政子、上檜政隆、江口仁、榎本節子、榎本まさ子、榎本眞理、江原澄、江原里美、江原節子、王美林、大田可奈恵、太田時夫、大田政彦、太田泰史、大貫貞子、大貫美智子、大橋敏男、大場知恵子、大場実、岡崎信彦、岡田悠紀子、岡戸富美子、岡澤秀郎、小川文啓、荻原勇夫、奥澤長子、奥嶋莊一郎、奥原修、小澤哲、尾野有代、恩木高、笠貫正光、笠貫達也、片山浩晶、片山雅美、加藤滋紀、加藤芙美子、金子幸生、金子豊巳、金崎勝男、鎌形光仁、鴨下和加子、川井栄助、川谷内俊哉、岸健作、キタノカズキ、城所忠男、喜内敏夫、清田次郎、木村建、沓澤昭雄、沓掛昭雄、工藤剛武、久保田博久、久保力男、久保木昭次、久保田親尊、熊川喜代司、栗原弘、小泉欽二、小出幸枝、小暮英明、小谷昌司、後藤清、小林あや子、高麗太造、近藤秀樹、権平清、今野真機子、斉藤恵子、齋藤秀、齋藤久江、齋藤博、齋藤弘道、齋藤陽一、齋藤隆治、酒井弘子、酒井文夫、坂上昌平、櫻井正身、佐々木昭夫、佐藤和雄、佐藤久美子、佐藤圭吾、佐藤隆史、佐藤英光、佐藤直衛、佐藤泰雄、佐野雅次、佐野幸孝、澤田祐爾、山後弘子、山後祐介、山藤誠、鹿内健悦、重松康男、宍倉信子、宍倉康雄、篠清市、篠奈津子、篠原淑浩、篠美登里、篠田乃武子、柴田清、渋沢小由美、清水泉、清水和夫、清水勢津夫、清水保良、七五三和夫、下里岩二、正願地孝子、白井芳郎、白川充彦、白田千明、新堀政由、十藏寺香織、杉山喬、鈴木綾子、鈴木邦忠、鈴木文雄、鈴木正子、鈴木光子、鈴木敏彦、砂長治、相馬麻衣子、高田耕吉、高野紘造、高橋孝壽、高橋剛、高橋敏夫、高橋もと子、高橋保夫、高原明美、滝沢勇、武内進、竹内康子、武田達幸、武田祐爾、建部祐子、田辺則明、田本土郎、坪井文雄、つくく♂、丁睿朗、寺尾徹、寺澤永祥、栃木謙治、栃木芙美子、中島豊、中園健治、中駄義光、永田洋、中台庄次、中西正夫、中村隆行、中村忠孝、中山義信、並木新二、西野宏、西村恵三郎、新田清剛、芳賀宏文、萩聖二、萩原勇夫、蓮見実、長谷川正一、長谷川良克、畑睦雄、馬場茂、浜野耕平、濱野実、林繁、林宏一、速水康晋、半田建二、半野田重俊、引間善二、久田智章、檜森聖三、平澤玉吉、平野功 平林育宏、廣田冬樹、福倉正和、福田敦子、福山幸伸、舩越建治、古部貞雄、寶崎和人、星芳文、堀満、堀池泰之、堀江知江子、前田和夫、牧野清、正木東彦、増田惣一、増田正毅、榎谷均、松枝清二、松清平、松島兼行、松嶋宏、松田行雄、松田幸雄、松本淳一、松本博、松山光志、松山雅則、松山雅哉、水島雅晴、三浦和子、三上洋二、三田村一雄、南定秀、南澤満之、宮本貢、村上憲聖、村川俊郎、村田正男、村本高史、持田貫宣、百瀬秀夫、森本孟子、八木又一郎、矢代三江、矢島藤人、安野智、谷田部元吉、築昭子、屋中一夫、山岡弘尚、山岡義雄、山岸正央、山口明、山口平男、山崎岩男、山下清男美、山田捷治、山田三津恵、山田善宣、山寺勉、山藤誠、山本勇、山本一雄、山本和紀、山本夷正、横井俊三、横沢孝二 與座英夫、吉田久乃、吉原東洋輝、脇坂佳二、脇田誠照、和田敦子、和田重章、和田義文、渡辺恵一、渡邊幸一、渡辺俊一、渡邊鐵雄、渡邊操、渡邊みゆき、訓練士親睦会、上級クラス一同、シャントクラス一同、F.H、F.K、H.M、K.A、N.M、N.T、O.Y、S.M、T.K、Y.N、Y.Y、Y.SY、S.M、T.K、Y.N、Y.Y、Y.S